

産後ケアセンター いちばん星ご利用予定の皆様へ

お住いの市町村より、申請の手続き終了の連絡がありましたら、センターに希望日の予約を事前にメールにて行って下さい。職員一同、皆様のご利用をお待ちしています。ご利用の際は、利用料金・利用規約についてご確認をお願いいたします。

利用料金一覧表			
利用区分	内訳	料金（自己負担額）	備考
日帰り (10時～16時)	助成あり	昭和町 500円 南アルプス市 500円 甲府市 500円	助成については、お住いの市町村にお問い合わせ下さい
	助成なし	14,000円	
ランチ代	大人500円 こども400円		衛生面などを考慮し、食べ物の持ち込みは出来ません。
諸経費	100円		エプロン・コップ・タオルの貸出、オムツ処理等

ご挨拶

社会福祉法人健輝会では、げんきキッズクリニックと協働して、産後ケアセンターいちばん星を開設しました。夜空に一番初めに輝くお星さまのように、子育てしているご家庭に明るい輝きを広げる場所でありたいと願っています。

皆さんと子育てを一緒に楽しめるような関係を築きたいです。

施設利用規約をよくお読みいただき、ぜひご協力をお願いいたします。

社会福祉法人健輝会 産後ケアセンターいちばん星

施設利用規約

社会福祉法人健輝会 産後ケアセンター施設利用規約 2026年9月改訂

1.利用対象者・利用料

○利用対象者：産後1年までのお母さんとお子さん（お子さんのお誕生日の前日まで）
医療的ケアを受けているお子さんも利用可能

○前項の利用料金一覧表をご確認下さい

例） 母子共にランチを食べる場合

（昭和町、甲府市、南アルプス市）

500円（利用料自己負担金）+800円（母と子のランチ代）+100円（諸経費）=1,400円

（その他の地域）

14,000円（利用料金自己負担金）+800円（母と子のランチ代）+100円（諸経費）=14,900円

2.利用内容

○利用時間：月・火・水・金 10：00～16：00 概ね2組/日

○きょうだい利用について

きょうだいのご利用はできかねます。

当園で開設している一時預かりにこにくらぶにてお預かりします。毎年毎に事前登録が必要です。

H P一時預かり予約フォームにてご予約下さい。詳しくはH Pをご覧ください。

○当施設をご利用できない場合について

①当センターの規約にご理解・ご協力をいただけない、又は、いただけなかった場合

②利用日前1ヵ月前から利用開始までの期間に、お母様、お子様、同居のご家族に以下の症状があった場合
利用できない場合があります。

③**利用日より24時間以内**にお母様、お子様、以下の症状があった場合

★発熱、咳、鼻水、倦怠感、味覚・嗅覚の異常、下痢、嘔吐、発疹、いつもと体調が違う場合等

○ご利用中の体調不良について

当施設は医療機関ではないため、発熱等の体調不良やケガなどがあった場合は、**速やかなご帰宅をお願いします。**

※途中退所の場合は、いかなる理由であっても利用料金、給食おやつ費、諸経費をお返しできませんので、ご了承願います。

○喫煙について

施設内・敷地内全面禁煙です。

3.食事

○食事の場所：昼食はセンター利用者と一緒にランチルームで食べて頂きます

こども園の給食とおやつと同じものの提供です

食事の際、提供するお茶は口の中の殺菌を目的としている「緑茶」です

○食事の形態：離乳食・アレルギー食対応可能です（予約の際、ご記入下さい）

*アレルギー食対応の場合には事前に「アレルギー疾患管理表」の提出が必要です

4.利用料の支払い方法

○利用料について

利用料・ランチ代・諸経費は来所持に「現金」でのお支払いです

キャッシュレスでの利用は出来ません。おつりのないように、ご協力をお願いします。

○キャンセル料について

利用当日キャンセルの場合→前日の17時までに「子育て支援センターながれ星」

080-5012-8597に電話にて連絡。

連絡なしのキャンセル・前日の17時過ぎのキャンセル料はかかります。

5.持ち物

・日帰り型産後ケア事業利用連絡票

（甲府市の方はこちらで用意があります。その他の市町村の方は市町村から配布がされていますので持参して下さい）

・産後ケア費用助成券

・母子手帳、ケアに必要な物、飲み物（食事の際：提供有）、おむつセット、着替え等

<以下のものは、こちらで用意します（諸経費に含む）>

・タオル（午睡用毛布、バスタオル、手拭き用タオル）

・食事用エプロン、手口拭き、コップ（マグ）、哺乳瓶、ミルク（すこやかのみ）

*離乳食で使うシリコンスプーンはありません。提供できるものは小さめのステンレス製のスプーンです。

必要な方は持参して下さい。

6.活動内容

・休養の確保、母乳ケア、産後のマイナートラブルに対するケア、子育て相談、管理栄養士または栄養士による食の相談、身体測定、子育て支援センター利用者との懇談

・当産後ケアは2022年6月に横浜の事業所で起きた件を受け**赤ちゃんの「預かり」という形はとっていません**。部屋の中で過ごす際も親御さんの見守りの中でゆっくりしていただきます。困りごとやトイレの際はスタッフに声を掛けてください。

・9時～14時の間は子育て支援センター利用者が同じフロアを使用しています。「ママの孤立化」をなくすということで希望の方は支援センターをご利用のママさんたちと交流してもらえます。このような理由から同フロアを使用するという設計となっています。

・当産後ケアは保健師、助産師、看護師、保育教諭、栄養士、子育て支援員等の多職種で連携しています。

一日の流れ

8:45	11:30	12:30	15:00	15:30	16:30
入室	給食				退室
健康観察、身体測定、 産後・母乳・子育て相談等 自由遊び、 子育て支援センター利用者との 交流	食の相談	休養、午睡	おやつ	産後・母乳・ 子育て相談等 自由遊び	

7.感染対策

感染症対策として、全職員と2階フロアを共同で使用する子育て支援センター利用者共にインフルエンザワクチン接種の徹底をしています。**12月1週目までに**産後ケアセンターをご利用する生後6ヶ月以降のお子様2回接種、大人1回接種へのご協力をお願いしています。未接種の方はご利用をお控え下さい。